

金メダルの、 その先へ。 GOLD AGAIN, AND OVER THE GOLD.

3大会ぶりの金メダルを獲得したソフトボールですが、3年後のパリ大会では再び正式種目から除外されます。(公財)日本ソフトボール協会は、ソフトボールをもっと多くの人に愛される競技とするため、「金メダルの、その先へ。」というスローガンを掲げています。渥美選手、山崎選手からの菊川市民に向けたメッセージと、次代を担う後輩たちの声を紹介します。

オリンピックを機に競技人口が 増えてくれることを願っています

皆さん、こんにちは！

トヨタ自動車女子ソフトボール部所属の渥美万奈です。

東京オリンピックでは、たくさんの応援ありがとうございました！国民の皆さんの思いが届いた大会だと思っています。

ソフトボールは競技人口が減ってしまっていますが、このオリンピックを機に増えてくれることを願っていますし、これからもソフトボールが人気スポーツになれるように、私も尽力したいと思っています。

今のコロナ禍で辛いこともあると思いますが、スポーツの力で少しでも皆さんに元気や勇気を与えられるよう、これからもやっていきたいと思っています。

今後も応援のほどよろしくお願ひします！

渥美万奈



2人のように周りから信頼される人になりたいです

日本代表の皆さん、金メダルおめでとうございます。決勝戦は、チームメートと一緒に観戦しましたが、やるべきところでプレイをやり切れる力がすごかったです。練習やこれまでの試合の中で、苦しいところを乗り越えてきているから、本番でも最高のプレーができるんだと感じました。特に、山崎選手の2塁打や渥美選手のグッツーは本当に完璧で、印象に残っています。

また、大事な1点が絡む場面で、渥美選手がエンドランを確実に決めたことも、確実に決める「徹底力」がすごかったです。両選手とも、夢の舞台上で活躍できる実力があるのはもちろん、周りから信頼されているからこそ、代表に選ばれているのだと思います。自分たちもそんな人になりたいです。

私たちのソフトボール部は、3年生が引退して新体制になったばかりです。チームの良さをこれから見つけて伸ばしていき、10月の新人戦県大会で優勝できるように、基礎を磨いていきます。

interview



常葉大学附属菊川高校
女子ソフトボール部主将
松下^{さき}紗季さん(堤)